

「キンダーガルテン」と云ふ名は改むべきか

紹介子

最近、米國各州に於て「キンダーガルテン」と云ふ名稱を改めやうと云ふ論が盛に起つて居ります、其起因は、勿論、今次の大戦以來、米國の獨逸に對する敵愾心が極度に燃えたためで、「獨逸製」と云ふ商標が其市場から排斥されたのは云ふ迄もなく遂には少くも獨逸流の名稱は之を改めればならぬと叫ぶ様になり、此波動は、やがて靜かな「子供の樂園」に迄及んで來たのであります。昨年十二月號以來、「ザ、キンダーガルテン、アンド、フアストグレード」誌上に於て引つゞ

きこの議論が戦はされてゐます、これによつて幼稚園教育に對する種々の意見も窺はれ、また、幼稚園と云ふ名稱に拘泥しない自由な氣分も味はれますのでその概略を紹介致します。

『「キンダーガルテン」と云ふ名を改むべきか』と云ふ問題は、米國に於て現今かなり廣い範圍に迄、及ぼし既に單獨に名をかへてしまつた所もある位で彼の國の幼兒教育界にとつて餘程重大な問題になつて居る様です。

一説がまた一説を生みながら、議論に花が咲い

てゐます、最近着同誌三月號までの所ではまだ何れとも結末がついて居りません。

論旨の大體をわけて「改革説」——（「キンダーガルテン」と云ふ名は是非、改めなければならぬ）——と「保守説」——（改める必要は少しもない）——となりませう。

一、改革説

この方面の論者は、かのコロンビヤ大學のヒル氏を初めとしポストンのアブロン氏、シカゴのテンブル氏、バサデナ州のムツキー氏其他であります。

ヒル氏が最初に同誌十二月號に意見を發表し、テンブル氏は同二月號に於て全然ヒル氏に賛成して居ります。

○改革派の論旨

この派の人々の論ずる所は

(一) 「キンダーガルテン」と云ふ名を初めてつけたフレーベルは、其の教育意見に於て既に時のプロシヤ政府と相容れざるものであつた。即ち、彼の有せる自由思想は、獨逸の思想ではなく彼は事實に於て我等米國民の理想とする民本主義デモクラシーを標榜したのである。すでにその當初に於て階級主義、軍國主義の獨逸にそむいて起つたこの教育事業であるが故に、我々は何も獨逸語を以て之を呼ぶ何等の理由を認めない。

(二) 今や學齡期前の教育は、一般に其の必要を認められ、しかも小學校教育と密接の關係を有するに到つた。實際幼稚園教育は公民教育(小學校教育)を完成するための重要な一部分をなすものである、ことに、心理學及兒童學の研究の結果子供の滿四歳より滿八歳に到る間は、其心的發達の一

時期をなして居るもので、この期を分ける事は不合理である事が明らかである。然らばこの當然統轄される筈の教育の時期を、わざ／＼分けて一つを幼稚園とよび、一つを小學校と稱する必要はない。幼稚園と云ふ名あるために、とかく教育と云ふ事から別物扱ひされやすい、故にこの名稱を改めて、小學校教育と離るべからざる關係を有するものであると云ふことを明瞭にする方がよい。と云ふのであります。

○新しき名稱

改革派が「キンダーガルテン」に換ふる名稱を種々呈出して居ります、其の主なるものをあげれば
ベビース、キネト、ノブライマリー、サークル、キッズスクール、サフ、ノライマリー、
子供の家、幼學團、家庭學校、初期小學校、
プレイ、ノライマリー、プレイ、スクール、チャイルド、ドクター、ジユニクス、ノライマリー、
前期小學校、遊戲室、子供の園、初等小學校、
プレイ、ノライマリー、ノライマリー、
豫備小學校。

○新しき名稱に於ける諸論

「キンダー、ガルテン」を改稱すべしとする人々

の間に扱、新しい名稱を選ぶとすると此處にまた議論百出の有様であります、「初等小學校」の名稱を主張するヒル氏は、「初期小學校」、「前期小學校」を評して「一體サブ、とは下方を意味するのでサブ、マリソなど云へば見えない所で仕事をする何だか不愉快な感を伴ふ、又フレは以前と云ふ意味で即ち學校以前の生活になつてしまつて、「學校生活の一部」の意味がない、もし之を「初等小學校」と云へば如何にも其邊の意味が充分あらはれる」と、前述のごとくテンブル氏はこの説を賛同し、今度の幼稚園協會の年會には是非之を呈出して議決を促したいと迄云つて居ります。

豫備小學校の論者なるオハイオ州のバンヤン氏は三月號の同誌上で「この名稱を用ひればたゞに幼児教育の全般に亘つて之が統一を示すばかりでなく、準備の意味をあらはしてゐる。即ち幼稚園の仕事の一番主なものやはり小學校教育或は廣く種々の教育をうくるに適する基礎をつくる

にある、而して其根本となるものは讀書力で、この養成は單に學習法に依るのみでなく、自由活動の間に子供はしらすくの中に物の心像を形成しやがては正しい發表をするに至るので幼稚園は實に之が準備の場所とも考へられるのである。」と申して居ります。

二、保守説

前の改革説に反對してこの方面、意氣また實に盛なるものがあります。ヒル氏と同月の誌上にはワシントンのワットキン氏が反體説をとなへ、ついでポストンのフキールロツク氏、ミルウオーキシのヴァンデ、ウハルカー氏、スミス氏、マサセツ州のバンデッド氏其他はまた保守説を主張して居ります。

○保守派の論旨

「キンダーガルテン」と云ふ名を保存すべしと主

張するこの派の人々の論ずる所は (一)「キンダーガルテン」と云ふ語はたとひ獨逸から起つたにせよ、其の主義は明らかにかの獨逸主義——階級的軍國的——に反したものであり、既に一八五一年にプロシヤ政府は獨逸全國にある幼稚園の閉鎖を命じたと云ふ事實がある、かくのごとく、其の初めに於て幼稚園精神は獨逸精神と相容れなかつたのである、即ち其根本に於て今世界が主張する民本主義モラルシの精神をもつて居るのである、此の立派な精神を標榜せる「キンダーガルテン」を、其の名稱が獨逸的であるからとて、改名しなければならないと云ふ理由はない。一體この運動(改名の主張)は愛國心が誤解されたために起つたものである、我々は飽くまでも、かの獨逸の階級主義、軍國主義の破壊のために戦ふのであるが、而し、獨逸の言葉、獨逸風の名稱のために戦ふのではない、「キンダーガルテン」が獨逸語であるにせよ既に精神に於て我が米國の民本主義であり、且、過去六十

餘年の光榮ある歴史を有する幼稚園事業を今更何を苦んで新しい名稱を選ぶ必要があらうか。

一體民本主義とは、個人の價値を認め、其の有する特長を充分に發揮せしめ、社會に大なる奉仕をなさしめんために努力するにある。これによつて、民族全體が確かな進歩の道を歩む事が出来るのである、しかも一方に個人の自由を許容するのみでなく、他方にまた各々の差別性を利用するにある、即ち教育は、適當の方法によつて此の各自の發展をはかり思想にも行動にも自由を與へ、其の特性を保護する様にとめるべきである、「キンダーガルテン」は學齡期前の教育機關としてこの使命を果さんがために盡力して居るではないか、なすべき事多き今日、單に名稱のために我々の勢力を浪費するのは愚な事である。

我々は「價値」の問題を冷靜に考へなければならぬ、我々は商業上に、政事上に、また教育上に何處迄も、かの誤りたる野蠻なる獨逸の文化カルツァに惑

はされない様に用心しなければならぬ。しかし、また、古代獨逸オールド・ジャーニーの創つた文學、美術、音樂等に對する憧憬の心は失ひたくはない、殊に教育家は人種的偏見をすて、世界的でなければならぬ、我々は獨逸と戰つたからと云つて樂聖ワグナーの歌劇オペラや、シルレルの詩や、ゲーテの作を排斥するであらうか。

(二)「キンダーガルテン」と云ふ名稱ほど充分に幼兒教育の意義をあらはして居るものはない、即ち子供は園ガルテンに生ひたつ植物の様なものである、素養ある保母と云ふ庭造りガーデン・デアの注意深い保護のもとに、子供と云ふ植物が、最も適當に培はれて出来るだけの成長をなし、花を開き、實を結ぶ其の源をつくるのである。この園ガルテン——「子供の」——と云ふ言葉以外に簡單にして意味深い言葉が英語には見つからない、新しい名稱がいろいろ稱へられて居るが、何れも折角我々が今日迄苦心して眞に園ガルテンの意味を世にしらしめるために努力して來た

この幼兒教育の精神を裏切る様な、其の威嚴を損する様な、又狹義に誤られやすい名稱である。

況んや未だ世界が兒童の權利、其の人格の尊重など夢にも思はず願ふものもなかつた時代に、之を認めこの事業のために其の全生涯を傾倒したる偉人フレーベルが、この「幼稚園」と云ふ名を稱へたのである、初めて之を思ひついた時に彼自身は『靈感インスピレーション」によつて』と叫んで居る、我々はフレーベルの教育意見を眞に了解するとともに彼が残したこの歴史を有する名稱をそのまゝ用ふる事を主張してやまないのである。

(三) 嘗つて米國の各州は幼稚園の設立及維持に關する規則を制定し、又多くの州は保母の資格も定めたのである。今「キンダーガルテン」と云ふ名を用ひないとすれば、これらの規則の上にも、種々の困難が起るであろうし、また、現今米國には、獨立の保母養成所、師範學校、専門學校、大學に附屬した養成所が既に百を超えて居る、こ

の方面を考へても各州思ひ／＼の名稱を用ふる様
になれば——現にかへた所もある様であるし「キ
ンダーガルテン」にかはり得る適當な名が一般
にみとめられず議論百出の有様の今日に於ては

——實際上困難な事が多くなるに相違ない、内容
に於て、我々の喜ぶべき主義を有する「キンダー
ガルテン」を今更他の名にかへて、よし其處に得
る所があるとしても、その改名より生ずるあらゆる
方面の煩雜と勞作は其の利益以上に多いであら
う。

保守派の論ずる所は大體右の様ですが「キンダ
ーガルテン」と云ふ名を繼續すべしと主張するこ
の人々はまた前掲の新しい名稱の各々に對して、
激しき攻撃の矢をはなつて居ります。

バルデット氏は面白い比喩をあげて改名の主張
を笑つてゐます、曰く「私達が先祖から何代とな
く住みなれた光榮ある歴史を有する我が家、なつ
かしい其の建物をもし其れを建築した大工の子孫

に罪人が出たからと云つて直ちに取毀すであらう
か」と。

○新しい名稱に對する駁論

一、幼學園……(一) これでは我々の理想と

する幼兒教育の精神があらはされて居ない、今迄、
切角、教育者の側にも、父兄の側にも理解され、
認められて來た幼稚園特有の教育の精神や其教育
手段が取り除けられる嫌がある。(フールロック)

(二) プライマリー、サークルと既に改名した一

地方の督學官が私に説明して「既に獨逸と戦争し
て居る以上、人間教育の出發點に於て兒童が獨逸
流の名稱を有する教育の場所に入ると云ふ事は、
愛國の精神にも反し、賢明な事でないと思ふ」と
云はれた、私は思ふ、米國には、尙、幼稚園に行
かない幾多の兒童があるではないか、又獨逸流の
姓名を有する家庭もあるではないか、かゝる家庭
に生れた子供が、生れるとすぐに其教育の出發點

に於て獨逸流の名を有する家に育つのである。而

らば彼等は眞にアメリカ人らしくないと云ひ得るであらうか、試みに、今次の大戦における戦死者の表を見よ、如何に我が忠勇なる戦士の多數が獨逸流の名を持つて居る事であらう。子供が幼稚園に入る時に「キンダーガルテン」と云ふ名は、彼等に何の意味もなさぬ、彼等は各々自分の興味の趣く所に自分の直接の經驗に従つて行く、「キンダーガルテン」と云つたとて、又は、外の聞きなれない名をつけたとて、彼等の精神生活にそれが影響するものではない。(ワットキン)

二、初等小學校：ジュニア、フライヤリ、サークル (一) 幼稚園ジュニア、フライヤリ、サークルと初等小學校ジュニア、フライヤリ、サークルと云へば世界の新教育の象徴を以て任ずる我が幼稚園の意味を含んで居ない。もし我々が現今の心理學及兒童學に教へらるゝ所ありとすれば、それは、(A)兒童の有する活力を組織的に統一する事が兒童教育の最初に於てなされねばならぬ事、(B)學習的教育は後廻しになすべきである。と

云ふ事である。

一つの名稱と、其のあらはす内容とは密接なる關係あるもの故、もし、以上の如き名稱が「キンダーガルテン」に換はるとすれば、これまで永い間幼稚園がなして來た運動を裏切つて、再び逆行する事になる。即ち、學習本位の教育が、教育の最初になされると云ふ事情になる、折角其教育精神の鼓吹の實があがり明瞭になつて來た幼稚園事業を、今更名を換へて、内容までも誤り易くするのは決して賢い方法ではない。(ヴァンデワルカー)

(二) 保姆としての教養をうけた人は、其の素養の方面から云つても、慥に特別で彼等の専門は「幼稚園事業」にある。然るに、ヒル氏其他の唱ふるごとく、小學校の一部としてしかも「初等小學校」と云ひ從來の小學校の二三年級位まで連絡して教育し得る様に教養すべしとすれば、すでに「幼稚園」が有する特長は失はれてしまふ。實際、年若

い婦人が、廣い範圍に役立つ様に教養されねばならぬとすれば、他方には確に其の貴き個人性、其の得意とするものが失はれてしまふに違ひない。

これ迄學齡期前の教育の必要に對して世間が有する種々の疑念に打勝ち之をのぞくためには一方ならぬ努力を要した。今や漸く光明の見出さるゝに至りし際に、この愛すべき意味深き名——「キン

ダーガルテン」と云ふ——しかもその創始者によつて興へられたこの名を我等から奪はんとするのであるか。今更新しい名稱のもとにまた出發しなほす事はあまりに愚な事である。(バルデット)

三、遊戯室：プレイ、スクール (一) 少くともこれは遊戯を教育の一要素と見做して居る點ではよい、けれどもこれが幼稚園の働き、其目的の全體を含んで居るとは考へられない、幼稚園は學齡期前の教育をなすものである事がこれではその意味が表はれない。

一體、遊戯室と運動場との仕事を區別する事は困難である。前者は、兒童の年齢の如何を問

はず、室内で或る組織立つた方法で遊ぶ場所、後者は戶外で、全く自由勝手に遊ぶ場所である。然らば「遊戯室」は定つた形式のもとに教育を受け様と努力し得る人々に適當なのである。幼稚園は、何處迄も常に實驗中の状態で定つた形式によらず、新しい方法で仕事をして行かうとするのであるから「遊戯室」では全く幼稚園の意味を變へてしまふのである。(ヴァンデワルカー)

(二)、「遊戯室」では其の意味が誠に不明瞭で誤解されてしまふ。(フキールロック)

(三) 名稱は、なるべく通俗的で、初めて聞く人にもすぐ其意味がわかる様なものがよい。大抵の人は、「遊戯室」と聞くと我々が一つの遊戯を學ぶ時に就て考へて見ても「模倣をする事」と云ふ意味に解してしまふ。これでは、全く幼稚園の意味を壊してしまふ。また、云ふ迄もなく意味が誠に狭い、實際永く我々に親しみのある又意味のよいくあらはされる「キンダーガルテン」と云ふ名、其精神は、立派にアメリカ化されてゐる以上これを

このまゝ存続させるがよい。

幼稚園と小學校との提携はます／＼喜ばしい、状態に達し、すでに我々の地方では四才から十才迄の兒童を教育し得る教師を養成し初めたのである、そこで私の考では、この時期に際して一番よい名は兩方をひつくるめて「キンダーガルテン」^{幼稚園}「プライマリー」^{初級}とでも云ひたい様に思ふ、しかしこれはあまり云ひまはしが拙である。我々の欲する名は家庭以外でなされる初等教育(學齡期前後の)のすべてを包含し、且、幼稚園期に於ける發育の盛な自由活動の最も尊重されるべき時期に加ふるに、六才以上の子供(學齡期後)の發達に必要な一層、有目的な活動——このすべてを含む言葉でありたい。教育の一層の進歩とともに、やがて我等の欲するよき名稱が與へられると思ふ。しかし今の場合は、どうしても「キンダーガルテン」以上に成程と思はれる名稱は見出されない。

(ゾイクトリア、ドツブス)

四、家庭學校……(一實にこれは不適當である、

何となればこれは年齢の如何を問はず、兒童の就學中に授けられる有り觸れた教育をあらはすに過ぎぬ。殊にまた學校教育のかはりに家庭に於て授けられる教育の意味にとられやすく、とても「キンダーガルテン」の代りに用ひられる言葉ではない。(ヴァンデワルカー)

五、「子供の家」……少しでも自分を尊重する事を知つて居る子供ならば、かゝる場所に來て教育をうけやうなどは夢にも思はぬであらう。

(フキールロツク)

前述の様に此論争はまだ結末をつけて居りませぬ、將來如何に開展して行くか實に興味ある問題です、改革派が勝つか保守派が勝つか私共にとつては向岸の火事見物同様の事ですが誌上であらはれた所で察しますと改革派は急進的にとし／＼實行に移さんとし、こゝに保守派が立つて之に反對して居るので此論争は幼稚園關係者の間に止らず大分米國の教育界を動かして居る様であります。

大正八年一月十五、十六、十七日の日割で名古屋市保育會に招かれ『幼児の身體的教育』と題して幼稚園教育の一面を講義致しました其序に名古屋市及静岡市の幼稚園の若干を參觀致しましたから其感想を此處に記して富士見行と名づけたのであります。一(大正八、一、三〇)一

○名古屋市立第一幼稚園

此處には名古屋市幼稚園の爲に不斷の活動を續ておられる私の敬愛する坪内喜久氏が保母長であります、お隣の小學校長足立氏が園長です。

南向きの暖い園舎で幼児は百餘名を收容してあります。牧野氏以下六名の保母が今日は鏡餅を開くと云つて子供等と共に各室でお鏡餅の分配や焼いてお汁粉にするなど楽しそうに一個の家庭的集團を作つておられました。

正午過てから律動遊戯を觀ました、指導者が仲

々上手であるし、其上に處々で適宜な懸聲をかけておられるので子供も仲々上手に軽く要點にかなつた動作が行はれました。

自分は常に斯ふ思つておる「律動遊戯そのものの音律が身體の各筋肉なり骨なりとしつくり合つて行くものであらうか、換言すれば律動遊戯の曲のりずむと身體的方面のりずむとははたして全然統てが一致しおるや否や」自分は此點に未だ充分の了解を有しておらない(之が自分としては更に土川氏律動遊戯が將來に於て在來の曲の内よりよきもののみが残つてゆき、更に又將來に於て研究を要すべき點であると思つておる、之は自分は幼兒の身體的研究を主としておるから律動遊戯と身體の關係のみを云つたが然し心のりずむと亦果して一致しておるや否や、之は余の圏外なれとも大